

「(株) 日本触媒 工場事故に伴う紙おむつの供給について」

9月29日に発生しました(株) 日本触媒姫路製造所の事故により、紙おむつの供給への影響を懸念する報道等がなされています。

本件に関しまして、当工業会の見解は下記のとおりです。

- 現在日本市場の紙おむつの生産量は、年間の使用量を満たしており、製造会社や流通段階での最終製品の流通在庫や、製造会社の原材料ストックを考慮すると、通常の消費・購入レベルにおいて、供給に大きな影響はないと考えています。
- また紙おむつの吸収体として使われている高吸水性樹脂(SAP)やその原料となるアクリル酸は、(株) 日本触媒以外にも国内外のさまざまな供給メーカーで製造がされています。今後 (株) 日本触媒の事業再開に時間を要する場合においても、これらの供給メーカーからの代替原材料の調達によって、供給への影響を減らすことが可能です。
- 以上の理由から、社日本衛生材料工業連合会、全国紙製衛生材料工業会は、今回の(株) 日本触媒姫路工場の事故が紙おむつの供給に与える影響は、きわめて限定的なものに収まると認識しています。

社日本衛生材料工業連合会、全国紙製衛生材料工業会の会員各社は、引き続き、消費者のお役に立つ優れた製品の製造と消費者の方が日常で安心して紙おむつを購入できるための安定した供給に最善の努力をいたします。つきましては、本件に関しまして、バランスの取れた報道と、消費者の皆様のご冷静な行動により、すべての消費者の方が安心して、普段どおりの製品購入ができるようご協力を切にお願いいたします。

以上